

河北大学 2007 年博士研究生入学考试试题

(类别: B)

学科、专业	研究方向	考试科目	备注
教育史	外国教育史	专业日语	

次の短文を中国語に訳しなさい。

森文相の教育改革

明治二〇年代初頭（一八九〇年前後）は、日本の天皇制絶対主義が体制的に確立されてくる時期である。まず、明治二二（一八八九）年二月には、大日本帝国憲法が發布され、天皇制絶対主義権力によって著しく制限された形の立憲政治体制の基礎が据えられる。他方、明治二一（一八八八）年五月の市町村制の公布、明治二三（一八九〇）年五月の府県制、郡制の公布によって中央集権的官僚機構がそのまま拡大されて、地方行政機構となって定着する。この天皇制絶対主義国家の体制的整備に應ずるために、既に森有礼は、明治一八（一八八五）年文相となるや、直ちに教育制度の大改革に着手し、まず翌年には帝国大学令以下の諸学校令を制定して戦前の国家主義的教育制度の原型を創出したのである。彼は、当時の日本の後進的国情に鑑みて、指導者階級の育成に重点をおいた。これは明治維新の変革自体が少数の自覚した指導者によって達されたように、日本の近代化も少数の指導者の指導によって可能であると信じていた当時の日本の指導者たちの考え方と一致したものであった。森はとりわけ、師範教育は、全国の初等、中等教育に与える影響が甚大であるという理由で力を入れている。師範生徒の入学を推薦と試験の二種とし、師範生徒の理想的気質として順良信愛威重を挙げ、軍隊式の寄宿舎制度を採用し、兵式体操を課することなどはいずれも彼の時に創始されたものである。さらにまた彼は、諸学校令制定の外に、教科書検定制の確立、学位制の創設、地方学事の視察制度の拡張などにも着手している。

彼の教育観は「抑学校ニ関スル勅令ノ大綱ハ、之ヲ概言セバ、国家ノ須要ニ応ジ、教育学問ニ達スル者ヲ製造スルト云フニ外ナラズ」と述べているように、国家の富強を第一義的に考えた国家主義的なものであったから、初等教育は「我国臣民タルノ本分ヲ辨ヘ、倫理ヲ行ヒ各人自己ノ福利ヲ享ルニ足ルベキ訓練ヲ行フ」ことを目的とする（注13）と規定され、中等教育については、「高等中学校は上流の人にして官吏なれば高等官、商業者なれば理事者、学



# 河北大学 2007 年博士研究生入学考试试题

(类别: B)

学科、专业	研究方向	考试科目	备注
教育史	外国教育史	专业日语	

者なれば學術專攻者の如き社会多数の思想を左右するに足るべきものを養成する所<sup>(注14)</sup>であって「殊に大切なるが故に政府自ら管理し」、「尋常中学校生徒は社会の上流に至らずとも下流に立つものに非らざれば、最実用を為すの人に非らざれば、不可なり<sup>(注15)</sup>」と述べてその社会的性格を明らかにしている。帝国大学についても「国家ノ須要ニ応スル」學術技芸を教授・研究すると規定して国家主義的な制約を加えたのである。このように、森はその教育制度の改革を通じて、当時の日本の天皇を頂点とした階層的社会に見事に対応した学校体系を創出したのであって、これによって教育が日本の近代化にもっとも効果的に働くこととなったのである。

この森の意図した天皇制絶対主義の体制的確立に伴う教育改革は、一八八九（明治二二）年二月、彼の不慮の死によって、一旦は雄図半ばにして頓挫しなければならなかったが、やがて、天皇制絶対主義の法制的整備が進むにつれて、森の予見した国家主義的教育体制は、国家の要請として、新しい憲法体制に密着した形においてなされるようになったのである。